カリキュラム

コースコード：26-161

テーマ	ヒューマンエラー	**会場**	中小企業大学校瀬戸校　PC教室
タイトル	**ヒューマンエラー・ポカミス対策講座**		
サブタイトル	不良・手直し、事故を未然に防ぐ仕組みづくり		
研修のねらい	ヒューマンエラーやポカミスは、製品・サービスの品質低下や手戻りを発生させ、生産性低下を招くだけではなく、時には重大な事故に繋がることもあります。安全で高効率な職場環境を整えるためには、ヒューマンエラーを抑制する仕組みづくりが必要不可欠です。 本研修では、ヒューマンエラーやポカミスが発生する要因を理解し、その対策と生産性向上を両立する方法を学びます。また、実際に自社の課題を抽出し、職場を改善するためのアクションプランを検討します。		
研修の特徴	・組織全体でヒューマンエラー対策に取り組む方法を学びます。 ・ポカミスを防ぎながら効率を上げる作業の改善方法を学びます。 ・自社のヒューマンエラー・ポカミス対策のアクションプランを検討します。		
対象者	経営幹部、管理者（製造業） ・ヒューマンエラーの発生にお悩みの方 ・ヒューマンエラー対策を検討している方	**定員**	20 名
		研修期間/時間数	2027年3月3日(水)～5日(金) 3 日　21 時間
		会場	中小企業大学校瀬戸校　パソコン実習室
		受講料	32,000円

科目構成

日付	時間	科目	内容	講師
3/3 (水)	9時20分～9時40分	**開講式・オリエンテーション**		合同会社サカタ経営 代表社員 坂田　卓也
	9時40分～12時40分	**ヒューマンエラーが会社に及ぼす大きな影響**	ヒューマンエラーの発生要因を理解した上で、ヒューマンエラーが大きな災害につながる事を理解し、会社に及ぼす影響を確認します。 ・ヒューマンエラーとは ・ヒューマンエラーを引き起こす4つの要因 （人的要因、作業的要因、設備・システムの不備、管理面での不備） ・ヒューマンエラーが会社に及ぼす影響	
	13時40分～17時40分	**組織で取り組む ヒューマンエラー対策**	ヒューマンエラーの人的要因を掘り下げ、作業者のスキルや人間の特性に注視して、ヒューマンエラーを発生させないようにしていく組織風土の構築を考えます。 ・ヒューマンエラーが起こる人的要因 ・人的要因によるエラーをなくしていくための、組織での行動原則 ・【演習】ヒューマンエラーを防止する組織対策を考える	
	18時10分～19時10分	受講者交流会		
3/4 (木)	9時00分～12時30分 13時30分～14時00分	**ヒューマンエラー発生の構造解析と安全対策**	作業現場でヒューマンエラーにより製品不良や損失を生じること（ポカミス）について、発生構造の解析手法を理解し、事故やヒューマンエラーを防止する安産対策を考えます。 ・事故やヒューマンエラーの構造を理解する：FAT解析 ・事故やヒューマンエラーを防ぐ安全技術：フェイルセーフ、フールプルーフ等 ・【演習】自社事例のFAT解析と安全技術適用の検討	
	14時00分～17時30分	**生産効率アップとヒューマンエラー防止の両立**	ムリ、ムダ、ムラを省く視点での、作業動作や手順の改善及び作業環境の整理、整頓、清掃等の実施により、作業効率のアップとポカミス防止を両立することを検討します。 ・ムリ、ムダ、ムラを省く人間工学的な対策、動作経済の原則 ・作業手順書、作業の標準化 ・５Ｓ（３S）と目で見る管理 ・【演習】自社のムリ、ムダ、ムラを省く対策の検討	
3/5 (金)	9時00分～12時30分	**ヒューマンエラーを防止する職場組織の活動**	事故・ヒューマンエラーを防ぐために職場で行う、安全衛生パトロール等の管理的な組織活動について確認します。 ・安全衛生パトロール ・その他の管理的な職場での自主活動	
	13時30分～16時30分	**自社の ヒューマンエラー＆ポカミス対策の検討【演習】**	研修での学びを踏まえて、自社のヒューマンエラー対策を検討します。 ・職場の問題点の洗い出し ・自社での課題の抽出 ・ヒューマンエラー＆ポカミス対策のアクションプラン作成	
	16時40分～16時50分	**閉講式**		

講師氏名	略歴
坂田 卓也 （さかた　たくや） 合同会社サカタ経営 代表社員	大日本印刷株式会社の生産総合研究所やエリーパワー株式会社の生産技術部を経て、経営コンサルタントとして独立し、現在の合同会社サカタ経営を設立。経営工学（IE）を活用した生産性の改善、品質管理（QC）や品質改善、新工場計画、生産ラインの自動化などの支援を行っている。支援実績は印刷関連、金属加工、食品加工、繊維と多岐にわたる業界の実績がある。中小企業診断士、技術士（機械部門）、エネルギー管理士（熱部門）、第3種電気主任技術者等を保有。